

Dollar cost averaging for FX version 1.05 BUILD 1 (2020-01-05)取扱説明書
2020-01-06 版

【ソフトウェア名称】

Dollar cost averaging for FX

【ソフトの概要】

FXにてドルコスト平均法を用いた取引を行う際の、ロットサイズの計算を補助する事を目的として開発されたソフトウェア.

【作者への連絡先】

URL: <http://tondemoronbun.web.fc2.com/>

E-MAIL: darmath1107@yahoo.co.jp

※私がインターネット上で公開しているプログラム類に関する情報の提供は、上記 URL (私の個人サイト)にて行っております.

【取り扱い種別】

フリーウェア

【動作環境】

WINDOWS: Vista, 7, 8, 8.1, 10

Linux: Wine 4.0.3 使用にて動作を確認.

【アンインストール方法】

当該ディレクトリごと削除して頂ければアンインストールは完了します.
レジストリに手を加える仕様ではありません.

1. 当ソフトウェアの目的

当ソフトウェアは、FX において、ドルコスト平均法によるトレードを支援する事を目的としたソフトウェアです。

ドルコスト平均法とは、ある一定期間毎に、ある一定額の投資対象のポジションを積み立てていくという投資法であり、予測の難しい為替相場で利益を上げる為に生み出された手法と言われていますが、近年では自社の持株会等、株における投資での利用の方が目立っているように思えます。

例えば、株においてドルコスト平均法を行う例として、毎月 1 万円ドルコスト平均法で積み立てる場合を考えてみると、最初の月では、対象となる銘柄が 1 株 100 円だったとすると、 $1 \text{ 万円} \div 100 \text{ 円} = 100 \text{ 株}$ 購入します。

次の月に、その銘柄が 1 株 80 円になったとすると、 $1 \text{ 万円} \div 80 \text{ 円} = 125 \text{ 株}$ 購入します。

更にその次の月に、その銘柄が 1 株 120 円になったとすると、 $1 \text{ 万円} \div 120 \text{ 円} = 83.33333 \dots \div 83 \text{ 株}$ 購入します。

このようにして、毎月積み立てを行います。

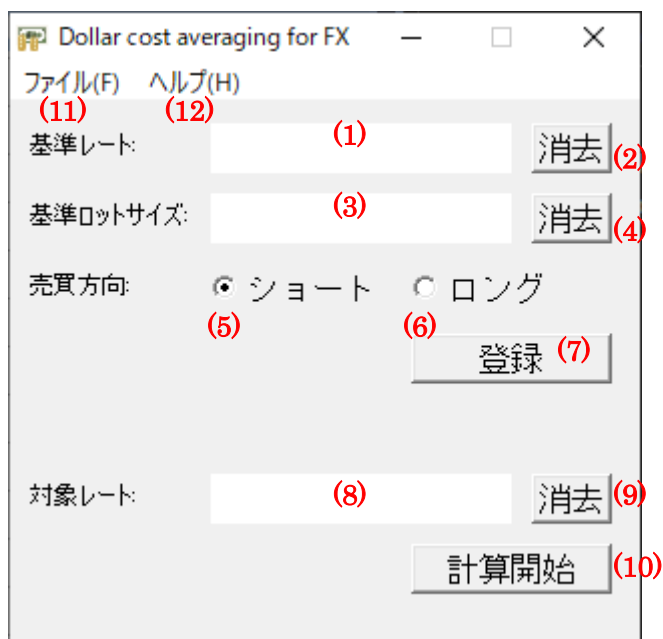
FX におけるドルコスト平均法においても、基本的には上で述べた株の例と同じ要領で積み立てを行います。

しかし、FX の場合、レバレッジやショートのポジションが持てる事(株においても、信用取引の場合はこの限りではないと思われるが)、普段のトレードから、売買対象の通貨におけるロットサイズでリスクをイメージしている事等、計算を煩わしくする要因があり、上で述べた株の例のように、簡単に計算し難いように思えます。

そこで、当ソフトウェアでは、この問題を解消する為、基準となるポジション情報(約定時のレート、ロットサイズ)を基に、単位期間経過時に持つ新たなポジションのロットサイズを算出出来るようになっています。

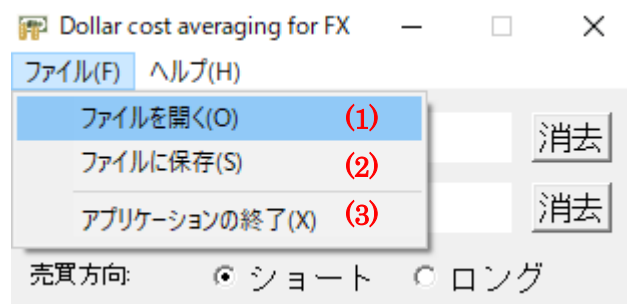
2. 当ソフトウェアの仕様

2.1. メインウィンドウ



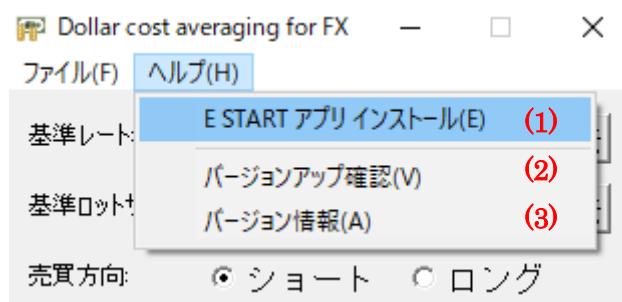
- (1) 基準レート入力用エディットボックスです。
小数点第4位までの入力が有効です。
それ以下の桁については四捨五入されます。
- (2) 基準レート入力用エディットボックスの内容を消去するボタンです。
- (3) 基準ロットサイズ入力用エディットボックスです。
正の整数で入力してください。
- (4) 基準ロットサイズ入力用エディットボックスの内容を消去するボタンです。
- (5) 売買方向選択用ラジオボタンです。
ショート方向に積み立てる場合に使用します。
- (6) 売買方向選択用ラジオボタンです。
ロング方向に積み立てる場合に使用します。
- (7) 基準レート、基準ロットサイズ、売買方向をファイルに保存します。
- (8) 対象レート入力用エディットボックスです。
- (9) 対象レート入力用エディットボックスの内容を消去するボタンです。
小数点第4位までの入力が有効です。
それ以下の桁については四捨五入されます。
- (10) ロットサイズの計算を行います。
- (11) ファイルメニューを開きます。
- (12) ヘルプメニューを開きます。

2.2. ファイルメニュー



- (1) 特定ディレクトリ上に存在する「デフォルトポジションファイル」(後述)をロードします.
- (2) 特定ディレクトリ上に「デフォルトポジションファイル」(後述)をセーブします.
- (3) 当ソフトウェアを終了します.

2.3. ヘルプメニュー



- (1) GMO インサイト株式会社提供の「E-START アプリ」のインストールを希望の場合の項目です。(※「E-START アプリ」の対応 OS は WINDOWS 7 及び 10 になります.)
- (2) 当ソフトウェアのバージョンアップ確認を試みます.
- (3) 当ソフトウェアのバージョン情報を確認します.

3. 当ソフトウェアの使い方

3.1. 基本的な使い方

ここでは、当ソフトウェアの基本的な使い方について解説します。

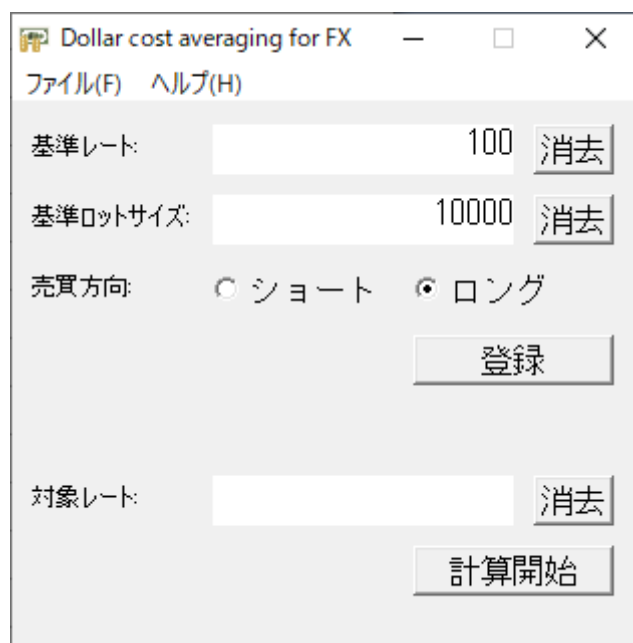
例えば、USD/JPY の通貨ペアにて、毎月第一月曜日にポジションを積み立てる場合を考えます。

ここで、ドルコスト平均法を行う最初の第一月曜日に1万通貨ロングのポジションをロングしたとします。

そのポジションが約定した時のレートが、1ドル=100円だったとします。

このロットサイズ「1万通貨」と約定時のレート「1ドル=100円」というポジション情報が今後のポジションのロットサイズを決める基準となります。

このポジションをエントリーしたあと、「Dollar cost averaging for FX.exe」を起動し以下のように入力します。



Dollar cost averaging for FX

ファイル(F) ヘルプ(H)

基準レート: 100 消去

基準ロットサイズ: 10000 消去

売買方向: ☐ ショート ☒ ロング

登録

対象レート: 消去

計算開始

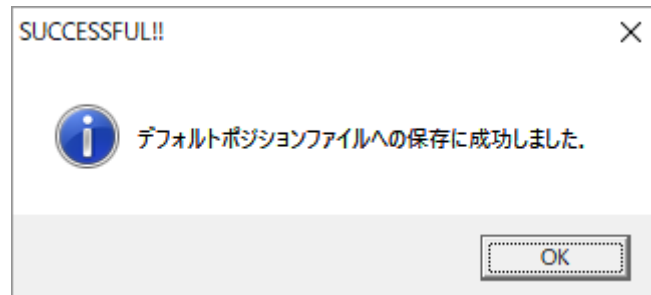
約定した時のレートが、「1ドル=100円」なので、基準レートには”100”と入力します。

ロットサイズは1万通貨なので、基準ロットサイズには”10000”と入力します。

売買方向はロングなので、ロングを選択します。

入力が完了したら、”登録”ボタンをクリックします。

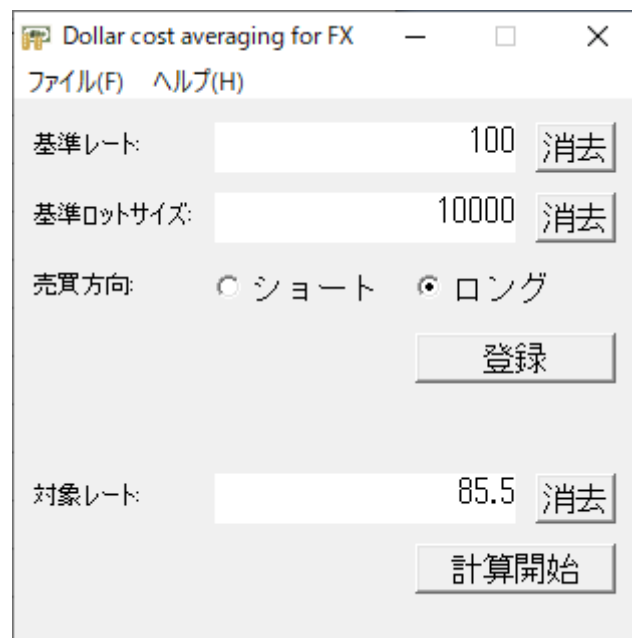
以下のようなメッセージボックスが表示されたら、登録は成功です。



登録完了後は、ソフトウェアを終了しても、再起動時に自動的に登録したポジション情報がロードされます。（登録しなくても、計算自体は問題なく出来ませんが、登録しておいた方が毎回煩わしい入力をしなくても済むため、登録しておく事を推奨します。）

次に、基準となるポジションをエントリーした次の月の第一月曜日に、チャートを見たところ、1ドル=85.5円になっていたとします。

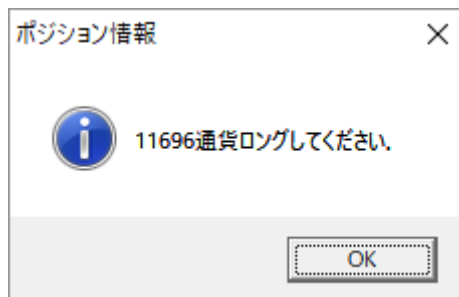
この時、もう一度「Dollar cost averaging for FX.exe」を起動し以下のように入力します。



現在のレートが1ドル=85.5円なので、対象レートに”85.5”と入力します。

入力が完了したら、” 計算開始” ボタンをクリックします。

すると、以下のようなメッセージボックスが表示されます。



11696通貨ロングすればよいことが分りましたので、この月は11696通貨のロングのポジションを持ちます。

このようにして毎月ポジションの積み立てを行います。

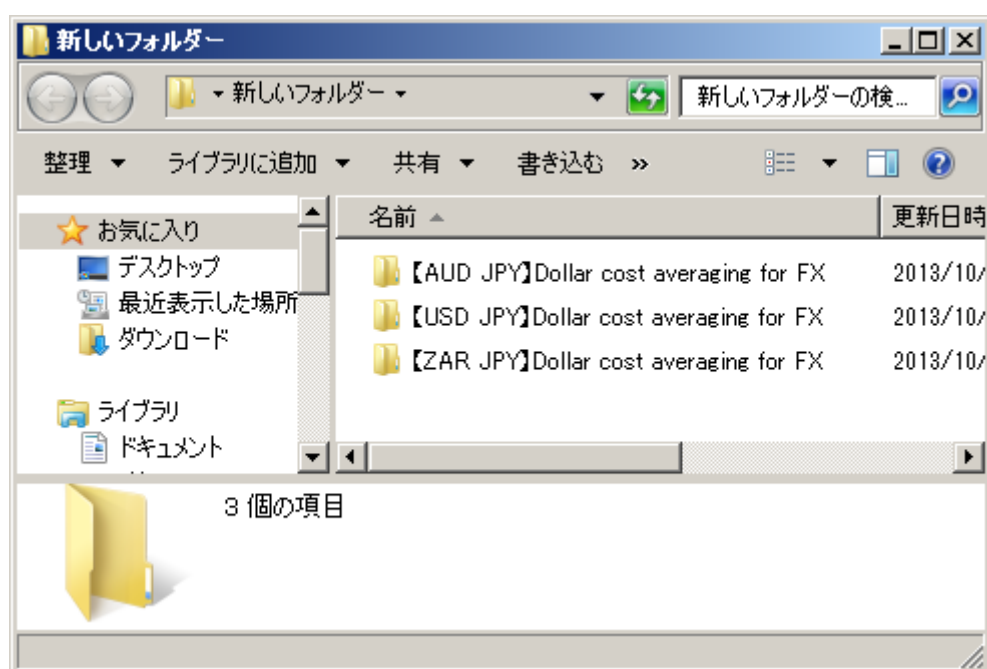
3.2. 当ソフトウェアを使ってポートフォリオを行うには

FXにおけるポートフォリオとは、複数の通貨ペアに分散投資する事を指します。

ここでは当ソフトウェアを使ってポートフォリオを行う方法について解説します。

まず、一番簡単な方法として、下図のように、当ソフトウェアの入ったディレクトリをコピーし分り易い名前を付ける方法があります。

この場合、デフォルトポジションファイルは各ディレクトリ内に作成されるため、他の通貨ペアのデフォルトポジションファイルには影響を及ぼしません。



もう一つの方法として、基準ポジション情報を任意の名前で保存し、必要な時にロードするという方法です。（但し、当ソフトウェア「setting_files」直下のディレクトリ内に保存する場合はデフォルトポジションファイルとは別名で保存して下さい。）

基準ポジション情報を保存するには、当ソフトウェアのメニューバーの「ファイル」→「ファイルに保存」をクリックし、名前を付けて保存して下さい。

基準ポジション情報をロードするには、当ソフトウェアのメニューバーの「ファイル」→「ファイルを開く」をクリックし、該当する基準ポジション情報を保存してあるファイルを選択して下さい。

4. Q&A

Q1.

そもそもFXは株式等に比べてボラティリティが低い傾向があるので、ある程度レートが動かないと、基準ロットサイズが余程大きくない限り、数通貨程度しかロットサイズが変動しないので、FXではドルコスト平均法はあまり意味が無いのではないかと？

A1.

2013年現在、日本ではSBI FXTRADEという業者が1通貨単位でポジションをエントリー出来るサービスを行っています。

少額資金でドルコスト平均法を始める予定の方は、SBI FXTRADEでの取引を推奨します。

Q2.

売買方向はどちらに設定しても結果に大差はないのか？

A2.

ドルコスト平均法では、長期的にポジションを持つ必要がある為、スワップポイントの影響も大きくなります。

ですので、スワップポイントがプラスになる方向に売買方向を設定する事が望ましいと思えます。

また、ショート、ロング共にスワップポイントがマイナスになるような通貨ペアではドルコスト平均法によるトレードを推奨出来ません。

因みに、当ソフトウェアの使用を推奨するブローカーであるSBI FXTRADEにおいては、2013年現在、ショートによるエントリーでスワップポイントがプラスになる通貨ペアは扱われていないと思われます。